

(11) Japanese Laid-open Patent Application No. 50-1537

(JP-50-1537- A)

(43) Laid-open Date: January 9, 1975

(21) Japanese Patent Application No. 48-52197

(22) Filing Date: May 9, 1973

(71) Applicant: Katsumi YAGI

(72) Inventor: Katsumi YAGI

(54) Title: Mounting Fastener for Dual-opening Door

BEST AVAILABLE COPY



① 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 公 報

昭和48年5月9日

特許庁長官 三 宅 幸 夫 殿

1. 発 明 の 名 称
両開き扉の取付金具

2. 発 明 者
特許出願人と同じ

3. 特 許 出 願 人
住 所 大阪市天王寺区石ヶ辻町3番地の4
氏 名 八 木 克 巳
代 理 人
住 所 大阪市東区道修町3丁目3番地
氏 名 (J365) 神選士 山 根 賢 蔵

4. 添 附 書 類 の 目 録

(1) 明 細 書	1冊	1通
(2) 図 面	10枚	1通
(3) 委任状	1枚	1通
(4) 願書副本	1冊	1通

明 細 書

1. 発 明 の 名 称
両開き扉の取付金具

2. 特許請求の範囲

扉枠体1のA側端上下及びB側端上下に中空筒2を設け、該中空筒2内に接続金具4を側部に有した球頭体3を嵌装し、連結杆5のT字形端6を連結金具6内に挿入し、他端を球頭体3の底面7に接続する、該連結杆5を固定支持金具7で支持し、該金具7と球頭体3の底面7間の連結杆5に圧縮パネ8を被覆する。一方扉枠体1のA、B側端中央部に設けられた把手9の把手軸10に直角に作動レバー10を設け、連結金具6に接続された連結杆11、該連結杆11に接続された連結杆12の他端を各々把手軸10に対称に連結する。

又扉枠体1の上下中央部に設けられた支点軸13を介して連結レバー14で球頭体3と球頭体3を連結する。一方扉外枠15の上下四隅部にシリ

①特開昭 50-1537

③公開日 昭50.(1975) 1. 9

②特願昭 48-52197

②出願日 昭48.(1973) 5. 9

審査請求 有 (全3頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6691 22

890A311.1

ンダー16を埋設してなる構造を特徴とする両開き扉の取付金具。

3. 発明の詳細な説明

本発明は家屋、部屋又は収納庫の出入口に使用する扉に関するものである。

本発明は扉枠体1のA側端上下及びB側端上下に中空筒2を設け、該中空筒2内に、接続金具4を側部に有した球頭体3を嵌装し、連結杆5のT字形端6を連結金具6内に挿入し、他端を球頭体3の底面7に接続する。該連結杆5を固定支持金具7で支持し、該金具7と球頭体3の底面7間の連結杆5に圧縮パネ8を被覆する。又、一方扉枠体1のA、B側端中央部に設けられた把手9の把手軸10に直角に作動レバー10を設け連結金具6に接続された連結杆11、該連結杆11に接続された連結杆12の他端を各々把手軸10に対称に接続する。

又扉枠体1の上下中央部に設けられた支点軸13を介して連結レバー14で球頭体3と球頭体3

を連結する。一方扉外枠15の上下四隅部にシリンダー16を埋設してなる構造を特徴とする両開き扉の取付金具に係るものである。

その他符号17は切り込み溝、18、19は接続ピンを示す。

本発明の一実施例を図面に従つて説明すれば、部屋及び収納庫の出入口の上下にシリンダー16を埋設した扉外枠15を取付け、該扉外枠15内に扉枠体1を嵌込み球頭体3、8の下部に設けられた圧縮パネ8の弾発力によつて球頭体3、8を押し出し、シリンダー16、16内に嵌挿固定して扉部を形成し、扉の開閉に際しては第1図に示す状態に於て扉枠体1のA側端中央部に設けられた把手9を右回転させると作動レバー10が回転し、作動レバー10の両端に接続した連結棒11、12を中心方向に引き寄せることによつて連結金具6が移動し、連結金具6に接続した連結杆5並に連結杆5に接続した球頭体3が圧縮パネ8を圧縮させながら中空筒2内を摺動して

引き寄せられ扉枠体1の縁面より沈むと共に、第2図で示す様に球頭体3の接続金具4に接続された連結レバー14の先端が下降すると共に支点軸13を支点として上下動しB側端の球頭体8を押し出して扉外枠15に埋設されたシリンダー16内に嵌挿し扉枠体1の左開きするための回転支点軸となつて扉枠体1のA側端を前後自由に開動することが出来る、又逆に扉枠体1のB側端中央部に設けられた把手9を右回転させることによつて前述したA側端把手9を回転させた時と逆の作動により、A側端球頭体3をシリンダー16内に嵌挿し、扉枠体1の右開きするための回転支点軸となつて扉枠体1のB側端を前後自由に開動することが出来る、以上の操作を繰返して行うものである。

本発明の扉の取付金具を装備した扉を家屋、部屋又は収納庫に使用した場合には扉の両側に取付けた何方の把手を回転しても、回転した側の出入口が開くために部屋の出入が非常に便利

であると共に、扉を両側何方からでも開閉可能であることにより内容物の出し入れが頗る容易に行え得る。又取付金具の構造が簡単であるために作動中の故障が皆無であると共に安価に製作することが出来る等種々の効果を有する発明である。

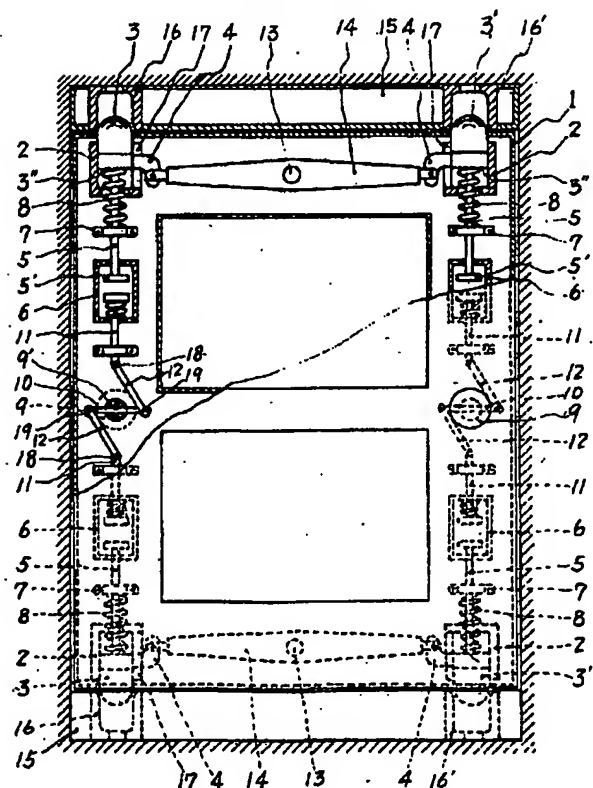
図面の簡単な説明

第1図は本発明の一部を切欠した正面図、第2図は本発明の一実施例を示した状態の一部を切欠した正面図を示す。

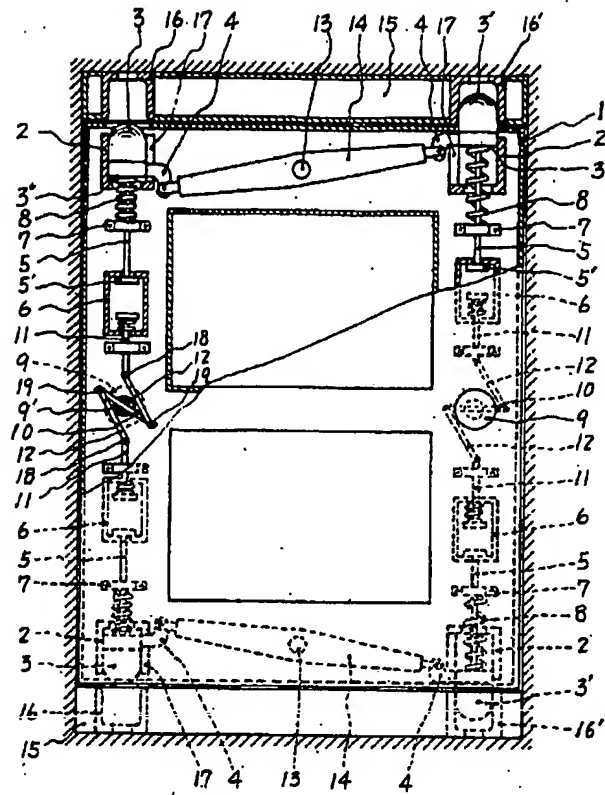
- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1-----扉枠体 | 2-----中空筒 | 3-----球頭体 |
| 5-----連結杆 | 6-----連結金具 | 7-----固定支持金具 |
| 8-----圧縮パネ | 9-----把手 | 10-----作動レバー |
| 11,12-----連結棒 | 13-----支点軸 | 14-----連結レバー |
| 15-----扉外枠 | 16-----シリンダー | |

特 許 出 願 人 八 木 克 巳
代 理 人 弁 理 士 山 根 賢 一

第 1 図



第 2 図



BEST AVAILABLE COPY